

# カリブー KLV(鹿沼図書館ボランティア)協会

## 【団体の概要】

会員数	約 250 名 (ジュニアも含む)
代表者名	大橋浩子
主な活動場所	市内小中学校図書館、図書館、 コミュニティセンターなど



## 1 団体設立の経緯

私たちKLV協会は、図書館ボランティア養成講座を受講した人たちが中心となって、1992年3月に誕生しました。現在KLV会員が、各施設、各部会で、企画から運営まで活発に活動しています。

## 2 団体の具体的な活動内容

私たちKLV協会の主な活動は、市内30余りの小中学校の学校図書館、市立図書館、コミュニティセンターでの活動で、各施設それぞれ独自の活動を展開しています。主に、蔵書管理(新刊本の受け入れ、補修、廃棄)、施設管理(書架の整理など)、読み聞かせなどの読書普及、利用指導、調べ学習などの授業支援、読書啓発の掲示物づくり、KLV通信発行など、7分野15種類の活動を行っています。さらに子どもの読書活動を支援しようと組織的に創意ある取り組みも実践しています。その活動が、次の三点です。

### ① KLV・Jr(カリブージュニア)の養成

小・中・高生が、読み聞かせボランティアとして活動することにより、本に親しむ機会が増え、自ら読書への関心を高めることなどを目的とした、KLV・Jrの養成と活動の支援にも力を入れています。コミュニティセンターや市立図書館、学童・福祉施設などで、読み聞かせや紙芝居、エプロンシアターなど演じることを中心に活動しています。そして、十数年後、Jr(ジュニア)たちが私たちの後を継いでいることを夢見ています。

### ② 街角ライブラリー運動

1994年から、読書の盛んなまちづくり、街角ライブラリー運動を進めています。子どもたちの読書を盛んにするためには、大人も読書に親しむまちをつくる必要があるという考え方に基づき、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に本と出会えるまちをすることで、読書の盛んなまちづくりを目指しています。銀行、郵便局、病院、美容室など、市民の皆さんが集まる様々な場所に本棚を設置する活動を展開しています。本棚は、当該施設に設置をお願いし、家庭などに眠っている本の寄付を受け、それをKLV協会が配本するというリサイクルの方法で実施しています。

### ③ ブックスタート事業支援

乳児の10か月健診時に、保護者と赤ちゃんを対象に、おすすめ絵本の紹介や読み聞かせなどの支援を行っています。絵本を通して、赤ちゃんに語りかけふれあいのひとときを持つことが、こころと言葉の成長にとっても大切であることなどを伝えています。

また、市立図書館の赤ちゃん絵本コーナーの紹介や、今後の利用なども促しています。

## 3 団体としての今後の活動予定

各施設に置いてある図書の実数や、KLV・Jrの養成、街角ライブラリーの充実など、KLV協会自身が発想した型にはまらない自由な活動によって活動の可能性を広げていきたいと考えています。